

2021年4月22日

株主各位

株式会社堀場製作所  
代表取締役社長 足立正之

### 第83回定時株主総会における株主様からの事前質問に対する回答

第83回定時株主総会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、事前の議決権行使にご協力を賜り、誠にありがとうございました。

今年の株主総会では、その目的事項につきまして、株主様より事前質問をお受けしました。そのうち多くお寄せいただいたご質問に対して、下記のとおり回答させていただきます。

#### 記

**Q： 脱炭素社会が謳われており、自動車の電動化の動きが加速しているが、この動向をどのように考えているのか。**

A： 世界中で脱炭素社会構築に向けた目標が掲げられており、自動車の電動化は進んでいますが、内燃機関（エンジン）を動力とする車が全くなくなることは当面ないと考えています。内燃機関車、ハイブリッド車、プラグインハイブリッド車、燃料電池車、電気自動車など、今後は自動車の「多様性」が増すと考えており、これら多様性に対応できるように当社グループは製品や技術を揃えています。

また、電動化への転換は社会でのエネルギー供給について考える必要があり、電力の多様性も増すことが考えられます。水素発電など新しい技術開発へ対応が求められることで、当社グループが貢献できることは多いと考えています。

**Q： どのように新しい事業に取り組んでいるか。**

A： 2019年に策定した中長期経営計画「MLMAP2023」において「Market Oriented Business」を重要施策のひとつとし、当社グループが取り組むべき3つのフィールドとして「Energy/Environment」「Materials/Semiconductor」「Bio/Healthcare」を掲げ、事業を行っています。

2020年は当社グループが保有する様々な技術を活用し、半導体市場向け製品の積極投入を図る「Optical Smart Sensing Project」を立ち上げました。さらに2021年1月には水素関連市場に対する取り組みを強化するために、既存の5事業を横断する組織「Hydrogen Energy Project」を新設しました。エネルギー社会での貢献が期待される水素に対し、「つくる・ためる・つかう」という全過程を俯瞰して、「水素のHORIBA」となることをめざして技術や製品を展開していきます。

**Q：株主優待を新設してほしい。**

A： 株主優待制度については、いろいろな角度・観点から検討していますが、現状において、新設する予定はありません。

引き続き業績向上を図り、今以上に優良・優秀な企業をめざし、経営努力をすることにより、企業価値および株主価値を向上させることが、株主の皆さまへの還元策だと考えています。

**Q：取締役のダイバーシティ（多様性）をどのように考えているか。**

A： 現在、取締役 8 名のうち、女性 1 名を含む 3 名が社外取締役であり、一定程度のダイバーシティは確保されていると考えています。

また、当社グループでは 2014 年から「ステンドグラスプロジェクト」を立ち上げ、ダイバーシティを推進しています。これは従業員一人ひとりを、色も形も大きさも違うステンドグラスの一つひとつのピース、また会社全体をステンドグラスの美しい絵に例えて名付けたプロジェクトで、これまでに、女性活躍推進、働き方改革等をテーマとして活動を進めてきました。このプロジェクトでは「全社及び各部門の意思決定プロセスに参画する女性の割合を 20%以上にする」という目標を設定しており、女性管理職比率 20%、女性役員比率 10%をめざしています。ステンドグラスプロジェクトを中心としたダイバーシティに関する活動が評価され、2021 年 3 月 22 日、当社は経済産業省と東京証券取引所が共同で実施する「なでしこ銘柄」に 3 年連続で選定されました。

以上